

Q&A

事前研修の日程について

- ・説明会や事前研修が部活動と重なってしまい参加できない日があるかもしれないが、昼間の開催なのか。
- ・参加が難しい日があるが大丈夫か。
- ・学校行事と重なってしまそうだが、その場合は応募が難しいか。

【回答】

- ・事前、事後研修その他本プログラムには、基本的に全て参加してもらう必要があるため、**学校行事以外**、例えば部活動等の日程などが重なった場合は、本プログラムを優先していただきます。研修の時間帯は、土日以外にも平日の夜の可能性もあります。
- ・学校行事につきましては、できるだけ重ならないように調整を行うように考えています。

英語力について

- ・英検の受験経験がなく、どの程度話せるかわからない。まったく話せない場合も応募していいか。話せない場合は英語力の記載は必要ないか。
- ・英会話に特別自信があるわけではない人や苦手な人でも大丈夫か。
- ・英語力が少なくても大丈夫か。

【回答】

- ・学校で習う程度の日常会話ができれば好ましいです。英語が得意でなくても、コミュニケーションをとる姿勢が大切です。
- ・話せない場合は英語力の記載はなくても構いません。
- ・ただし、本プログラムは観光ではなく研修のため、実りあるものとするためには、実際にフィンランドに行くまでの間に努力をしてもらう必要があります。

選考について

- ・面接は、英語・日本語のどちらで行うのか。制服で受ける必要はあるか。
- ・1年生も2,3年生と同じ選考条件で選ばれるということでよいか。

【回答】

- ・二次審査の面接は日本語で行います。また、面接を受けるにふさわしい服装で臨んでください。
- ・選考基準は、学年での差異は考えておりません。みなさん同じ条件で選考し、チャンスは等しくあります。

必要な準備と経費について

○必要な準備

①パスポートの取得

二次選考を通過し、派遣団員として決定した場合、早急にパスポートの申請をしていただく必要があります。オンラインでの申請もありますが、窓口申請と同じく 2 週間程度かかるようです。また、渡航時に 3 か月以上の旅券残存期間が無いと入国できないこともある様です。更新が必要な方も申請が必要となります。

②渡航に必要な日用品等の準備

渡航に必要な準備品等については、参加者決定後のオリエンテーションにて詳細を説明しますので、その内容を参考に荷造り等準備を行っていただきます。

○必要な経費

①パスポートの取得費用

②渡航に必要なキャリーケース・日用品の準備にかかる費用

③現地での参加者のお小遣い

※ 航空券・宿泊・食事・海外旅行保険等にかかる費用は全て市が負担します。

○現地のお小遣いは平均いくらか。どのくらい持っていけばいいか

【回答】

- ・上限は設けていませんが、本事業は研修であるため、旅行の際のような金額を持っていく必要はありません。お土産等購入のため現地のお店を巡るようなプログラムも想定していません。ただし、飲み物や軽食などの購入、プログラムに沿って立ち寄った場所や空港滞在時など空き時間での買い物などは考えられます。
- ・フィンランドはキャッシュレス決済が普及していますので、IC チップ付きのクレジットカードの持参をおすすめします。しかし、店舗によって使えないなど考えられますので現金も併せてご準備されると安心かと思います。現金を持参される場合は出発日前までに銀行等で日本円からユーロに両替することをおすすめします。

引率者について

- ・市からの引率者として 3 名が同行します。うち 1 名は必ず女性を含む構成とします。引率者の内訳は、現在調整中です。

怪我・病気等のトラブルが発生した際の対応について

- ・怪我・病気等の発生時には、引率者が医療機関の受診が必要であると判断した場合、現地の医療環境に精通したスタッフが、日本の水準に近い医療機関へ連れて行きます。また、現地で万が一事故や有事が発生した場合は、同行スタッフが速やかに現地警察や現地企業と連携し、危険回避のサポートを行います。本事業の委託業者には、海外での危機管理をサポートする専門事業者との提携を義務付けているため、トラブルの際には 24 時間いつでも速やかに、現地医療機関・警察・大使館・航空会社等のサポートを受けられる体制を準備します。

その他

- ・委託業者の正式な決定はいつごろか。
- ・ホテルは一人一部屋か
- ・常備薬は持参可能か。持って行ってはいけない薬・サプリ・食品等があれば知りたい
- ・カメラは持参していいのか（撮影含む）スマートフォンやその他電子機器の持参
- ・翻訳機の使用は禁止なのか
- ・中高のプログラム内容は同じか
- ・ホームステイはあるか

【回答】

- ・委託業者の正式な決定は今月中を予定しています。
- ・現地での過ごし方や持参物に関しては、選考終了後の事前研修などで、参加決定者に周知していきます。
- ・常備薬や、記録用カメラ等、電子機器の持参を現段階では禁止していませんが、フィンランドの入国条件に適していないものは持ち込めませんし、電子機器に関しては研修にふさわしくないものなどは今後制限する可能性があります。
- ・プログラム内容については同じですが、事前研修などで中学生・高校生にそれぞれ異なる課題が与えられることを想定していますので、研修での要求度が異なります。
- ・ホームステイについては行う予定はありません。